

《柏市教育福祉会館運営協議会第2回会議 資料2》

令和5年度

今後の進め方について

1 ラコルタ柏全体 編

令和5年度～ ラコルタ柏（教育福祉会館）の進め方

誰もが集える みんながつながる 地域へひろがる



1

1. 令和5年度の方向性

令和5年度に重点的に取り組んでいくこと

集い

市内や近隣大学との連携による大学生との関わりを増やしていく。

現在、ラコルタ柏を利用されている方々が、今後も『居場所』としてお互いに関わり合いながら過ごせる機会の創出を行う。

つながる

【利用者間】

ラコルタ柏内の多世代交流スペースやオープンスペースなどを活用して、利用者同士が交流しながら過ごせるような企画を検討し、実施していく。

【事業間】

教育分野と福祉分野との連携による新規事業や既存事業を強化していく。（検討例：障害を持つ方たちに対する生涯学習の機会提供や夏休み中の子ども向け事業への連携など）

社会福祉協議会、中央公民館それぞれのイベント参加者に対してお互いの既存事業への協力や周知などを積極的に行う。（例：中央公民館のパソコン講座やスマホ講座の参加者に、社会福祉協議会が実施するスマホ教室のアシスタントや講師役を打診するなど）

ひろがる

SNSを活用した広報周知を継続していく。ラコルタ柏内の事業に参加してくださった方の活躍の機会を創出できるよう地域との連携体制を構築し、アウトリーチ講座の実施を検討していく。（例：柏未来ラボに参加した学生たちの活躍の機会を、受け入れてくださる町会などと連携していくなど）

2